

番組「すたあと これなんのひょうしき？」を活用した本時案

月
日

新潟市立新潟小学校 教諭 三星 雄大



活動名

これなんのひょうしき？

活動のねらい

番組を視聴しながら「これなんのひょうしき？」の活動に取り組むことを通して、標識についての興味・関心を高めることができる。

本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
7	<p>1. 番組を視聴し、活動に見通しをもつ。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">「これなんのひょうしき？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号の近くに人のマークがあったよ。 ・僕の家近くに、赤い丸に漢字の一みたいなマークがあったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○視聴した後に、「皆さんは登下校のときに、標識を見たことはありますか」「どんな標識がありましたか」など、いくつかの質問を子どもに投げ掛ける。子どもの経験を引き出した上で活動ができるように工夫する。
10	<p>2. 問題に答える。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>[ヒント: 線路の近くにありますが]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線路の近くだから、電車のマークの標識が正解だ。 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>[ヒント: ○○公園にある標識です]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の人がいる標識だよ。お父さんに聞いたら避難場所って言っていた。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○あらかじめ、番組資料「いろいろなひょうしき」を用意し、クイズにして子どもたちに出題する。 ○子どもに、「何のためにあると思う?」「この標識がなかったらどうなる?」など、問いながら標識の意味についても気付かせる。必要があれば補足説明する。
5	<p>3. 活動をした感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標識クイズが楽しかった。 ・今度は自分で問題を作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなが知っている標識はまだあるかな?」など、問いかける。そして、自分でもやってみたいという気持ちを引き出す。

★番組活用の別案

・子どもが標識について興味をもったら、宿題などにして調べさせます。そして、調べてきたことをもとにワークシートを使って問題を作成できるように時間を設定し、標識クイズ大会を開くのもいいでしょう。このようにすることで標識に対する興味・関心を高めると共に安全に登下校しようとする気持ちも高めることにつながります。

新型コロナウイルス感染症対策で配慮すること

・大型のテレビやスクリーンを使って、標識が学級の子どもたち全員に見えるように配慮しましょう。